



株 主 の 皆 様 へ

**JUKI**

第103期 報告書

2017年1月1日 ▶ 2017年12月31日

**JUKI 株式会社**

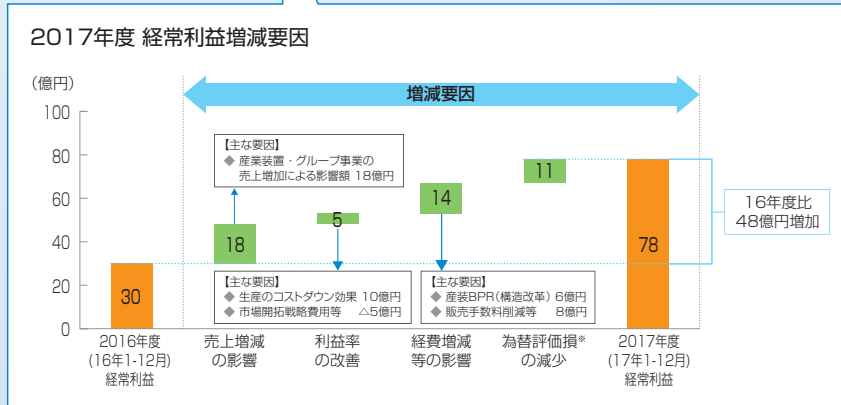
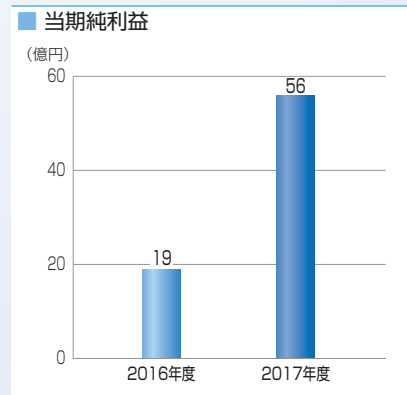
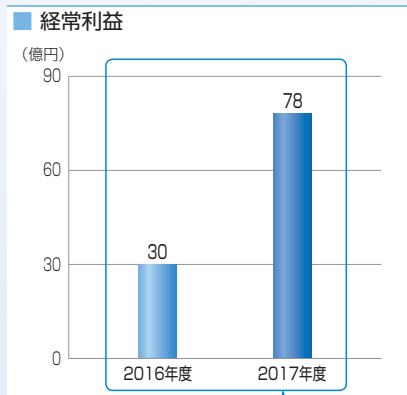
証券コード：6440

## 業績のポイント

売上高は、欧米や中国の経済が堅調に推移し、特に中国における活発な設備投資需要に支えられたことや、為替が円安基調で推移したことなどから、前年同期比6.1%の増収。利益面は、収益性を重視した販売施策やコストダウン、諸経費削減効果などにより、営業利益は前年同期比75.3%の増益。また、外貨建債権の評価替えに伴う為替差損が縮小したことなどから経常利益は前年同期比159.4%の増益。

売上高 1,037億円 (前年同期比 60億円の増加)  
 経常利益 78億円 (前年同期比 48億円の増加)

当期純利益 56億円 (前年同期比 37億円の増加)  
 年間配当金 35円/株 (普通配当25円、記念配当10円)



\*外貨建債権の評価替えに伴う為替差損

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第103期 報告書(2017年1月1日から2017年12月31日まで)のお届けにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当期においては、欧米や中国の経済は堅調に推移し、とりわけ中国における活発な設備投資需要に支えられたことや為替が円安基調で推移したことなどから、連結売上高は1,036億5千9百万円となりました。

利益面につきましては、収益性を重視した販売活動の展開やコストダウンなどによる利益率の改善および諸経費削減の効果などにより、連結営業利益は81億5千6百万円となりました。また、前年度で大きく発生した外貨建債権の評価替えに伴う為替差損が縮小したことなどから、連結経常利益は78億3千9百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は56億4千2百万円となりました。

配当につきましては、当期の業績や将来の事業展開に備えた内部留保を総合的に勘案し、安定的な配当による株主様への利益還元の充実に努めることを基本方針としております。この方針に基づき、当期の期末配当につきましては1株当たり25円とし、更に本年は当社創立80周年にあたりますので10円の記念配当を加え、あわせて1株につき35円とさせていただきます。

当社は、長期ビジョン「21世紀を生き抜くグローバルでイノベティブ(革新的)なものづくり企業」のもと、昨年、当社グループが将来に亘って継続的に成長していくための中期計画「Value up 2022」を策定いたし

ました。この中で、当社が2022年に目指す姿を「お客様とJUKIが製品・サービスを通じて企業価値の向上ができるものづくり企業」とし、この姿を実現するため2017年度から2019年度の3年間の中期計画ビジョンを「お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業」といたしました。

今年度においては、事業環境の変化や事業計画の展開状況を踏まえ、上記の中期計画を2018年度から2020年度の3年計画にローリングさせ、引き続き上記ビジョンの着実な実現を目指してまいります。

このビジョンを実現するために、ソリューション営業による価値創造力の強化や市場開拓による顧客基盤の構築、グローバルでイノベティブ(革新的)な人材の育成・活用やスマートな事業基盤の構築等に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役

清原 晃

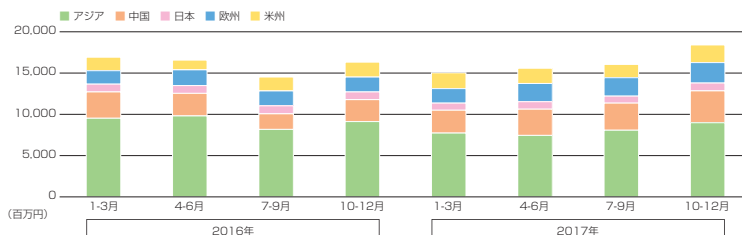
## 縫製機器&システム事業（工業用ミシン・家庭用ミシン）

市場別では欧米・中国でのハイエンド分野での売上が伸びたものの、アジア市場における一部地域での売上が伸び悩んだこと、製品別ではノンパレルの分野での売上は堅調であったものの、ミドルマーケットの Apparel 市場向けの売上が減少したことから、縫製機器&システム事業全体の売上高は690億5千5百万円(対前連結会計年度比0.3%減)となりました。

### ● 工業用ミシン製品の売上高:前年同期比較(単位:億円)

	2016年 (1-12月)	2017年 (1-12月)	増減額
アジア	366	322	△ 44
中国	105	131	26
日本	38	36	△ 2
欧州	71	87	16
米州	63	75	12
合計	643	651	8

### ○ 工業用ミシン製品の地域別売上高推移



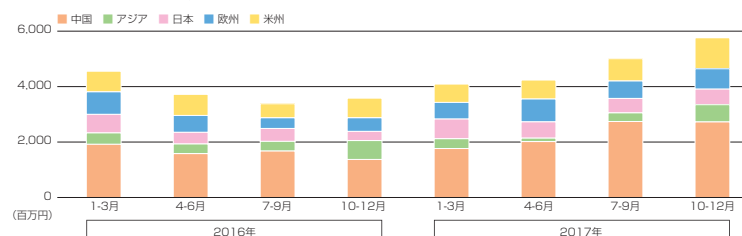
## 産業機器&システム事業（産業装置、グループ事業、カスタマービジネス）

産業装置では最大の市場である中国をはじめとした設備投資需要の拡大に支えられて、新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置等の売上が大きく伸びたこと、受託加工等のグループ事業では顧客開拓が進み売上が着実に伸びたことなどから、産業機器&システム事業全体の売上高は342億8千万円(対前連結会計年度比21.8%増)となりました。

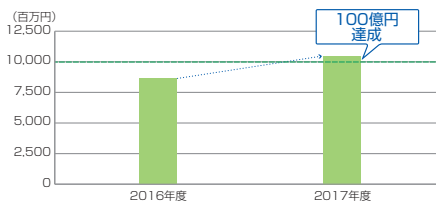
### ● 産業装置の売上高:前年同期比較(単位:億円)

	2016年 (1-12月)	2017年 (1-12月)	増減額
中国	65	92	27
アジア	18	14	△ 4
日本	19	24	5
欧州	23	28	5
米州	27	33	6
合計	152	191	39

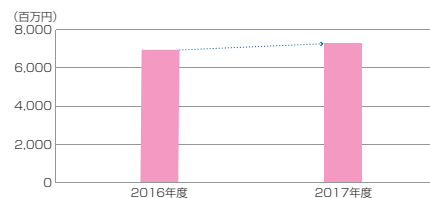
### ○ 産業装置の地域別売上高推移 (含むパーツ・サービス)



### ● グループ事業の売上推移



### ● パーツ事業の売上推移



## 1. 2018年度通期業績予想

(億円)

	2017年度 実績	2018年度 業績予想
	通期 (1-12月)	通期 (1-12月)
売上高	1,037	1,040
縫製機器&システム	(691)	(690)
産業機器&システム	(343)	(350)
営業利益	82	55
経常利益	78	50
当期純利益	56	35
配当	※通期：35円/株	通期：25円/株
為替レート	1ドル=112円	1ドル=105円

※うち普通配当25円、80周年記念配当10円

## 2. 環境認識

### 経済環境

- **世界経済は、昨年同様安定的な成長維持を期待**
  - ・但し地政学的リスクには注意が必要
- **電子部品・工作機械業界の設備投資需要は好調**
  - ・情報通信（IoT）分野の技術革新、労働人口不足

### 顧客ニーズ

- **技術革新（「もの」から「こと」へ）の動きが加速**
  - ・AI、ロボット、クラウド等への関心拡大
- **スマートカンパニー・ファクトリーへ積極投資**
  - ・デジタル化、システム化、自動化ソリューションの導入

### 企業への要請

- **経営体制の合理化**
  - ・コーポレートガバナンス体制の強化、グローバルな対応体制
- **利益重視の経営**
  - ・毎年の増収増益、配当の安定化、自己資本の拡充

## 1. 中期経営計画の取り組み 6つの基本方針

中期計画「Value up 2022」の2年目(2018年度-2020年度)スタート

ビジョン

お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業  
～世界中のお客様へ「感動と安心」をお届けしよう!!～



事業戦略

- ① **ソリューション営業での価値創造力の強化**  
自動化、システム化の提案力強化や、AI、リモートコントロール等先端技術の活用などを通じて、ソリューション（付加価値）を提供してまいります。
- ② **市場開拓による将来の顧客基盤構築（新たに追加）**  
製品の競争力向上、新規顧客の開拓、既存顧客との関係強化などにより、成長分野を含め、将来に亘る磐石な顧客基盤の構築に努めてまいります。
- ③ **将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出と強化**  
グループ事業を通じた新規事業の開拓、パーツビジネスの推進、アライアンスの強化等に努めてまいります。

基本方針

体制戦略

- ④ **ビジョンを実現するグローバルでイノベティブ（革新的）な人材の育成と活用**  
ダイバーシティを推進するとともに、グループ全体の人材育成とローテーションを進めてまいります。健康経営推進により、イノベティブで活気のある人材と組織を構築してまいります。
- ⑤ **スマートな事業基盤の構築（プロセスのSmart & Connected化）**  
サプライチェーンマネジメントの改革、原価低減、働き方改革推進による業務の効率化、グループ全体での環境経営の推進等を進めてまいります。
- ⑥ **財務体質の強化による自己資本の積み上げ**  
在庫の削減、効率的なグループ資金管理などにより有利子負債の削減を進めるとともに、収益力を強化し自己資本の積み上げに努めてまいります。

# 2018年度重点施策（縫製機器&システム事業：工業用ミシン）

## 1. 工業用ミシンの重点施策

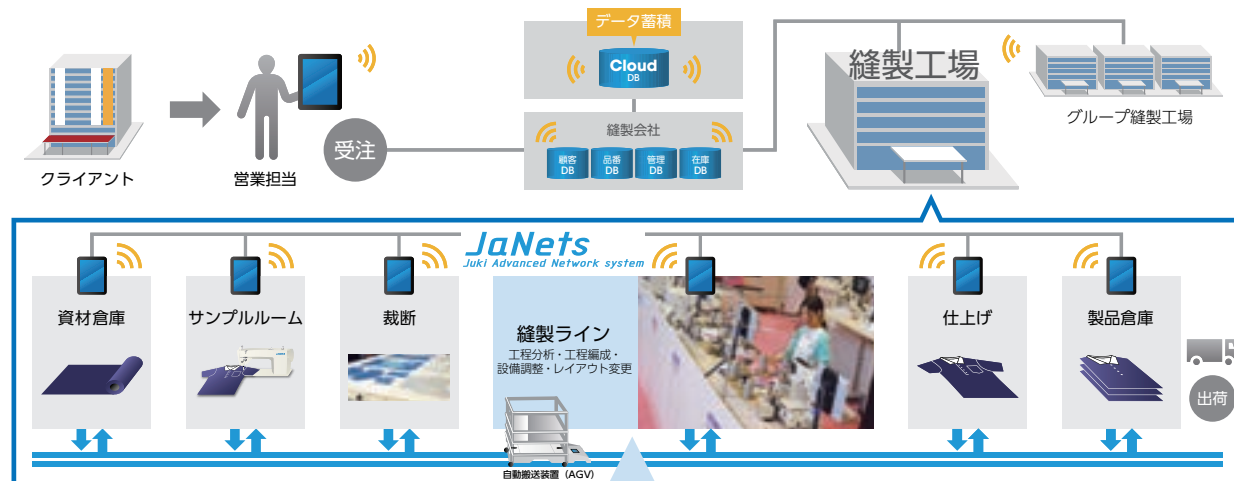
**ビジョン** JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献

**基本方針** 各市場（ミドルマーケット含む）に合った、縫製スマート工場のスタンダード確立と提案強化

**重点施策**

- ・スマートファクトリービジネスモデルの確立と品揃え拡充
- ・縫製ネットワークシステムのパッケージ展開
- ・アジアビジネスモデル再構築と拠点幹部の育成

## 2. JUKIが提案するスマートファクトリー（JUKI Smart Solutions）



NEW  
本縫いデジタルミシン



NEW  
ニット用デジタルミシン



NEW  
ポロシャツ前立て装置付き自動機



NEW  
ノンアパレル用ミシン（頭部回転仕様）

## 1. 家庭用ミシンの重点施策

**ビジョン** 趣味力の高いお客様（Home Sewer）と新たな楽しみの創造

**基本方針** 強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルトを中心に堅実な事業を展開

**重点施策**

- ・ JUKIの強みを活かした製品展開で、ホビー・クラフトマーケットの攻略
- ・ 市場規模が大きく、かつハイエンド市場のある主要3市場(日米欧)に注力しての拡販と利益改善
- ・ ニーズ探索、情報発信力強化によるユーザーの囲い込み

HZL-EX7



使い心地縫い品質がさらに進化した  
JUKIのフラッグシップモデル

高級家庭用ミシン

ロックミシン

MO-1000ML



空気圧を利用した  
自動ルーバー糸通しを  
採用したオーバーロックミシン

工業用ミシンで培った技術を活かした商品群

職業用ミシン

キルト用ミシン

SL-700EX

NEW



厚地縫いの範囲を広げた  
可縫性の高い最高級職業用ミシン

J-150QVP

NEW



工業用本縫いマシンに  
キルト機能を付加した高級キルトミシン

TL-2200QVP



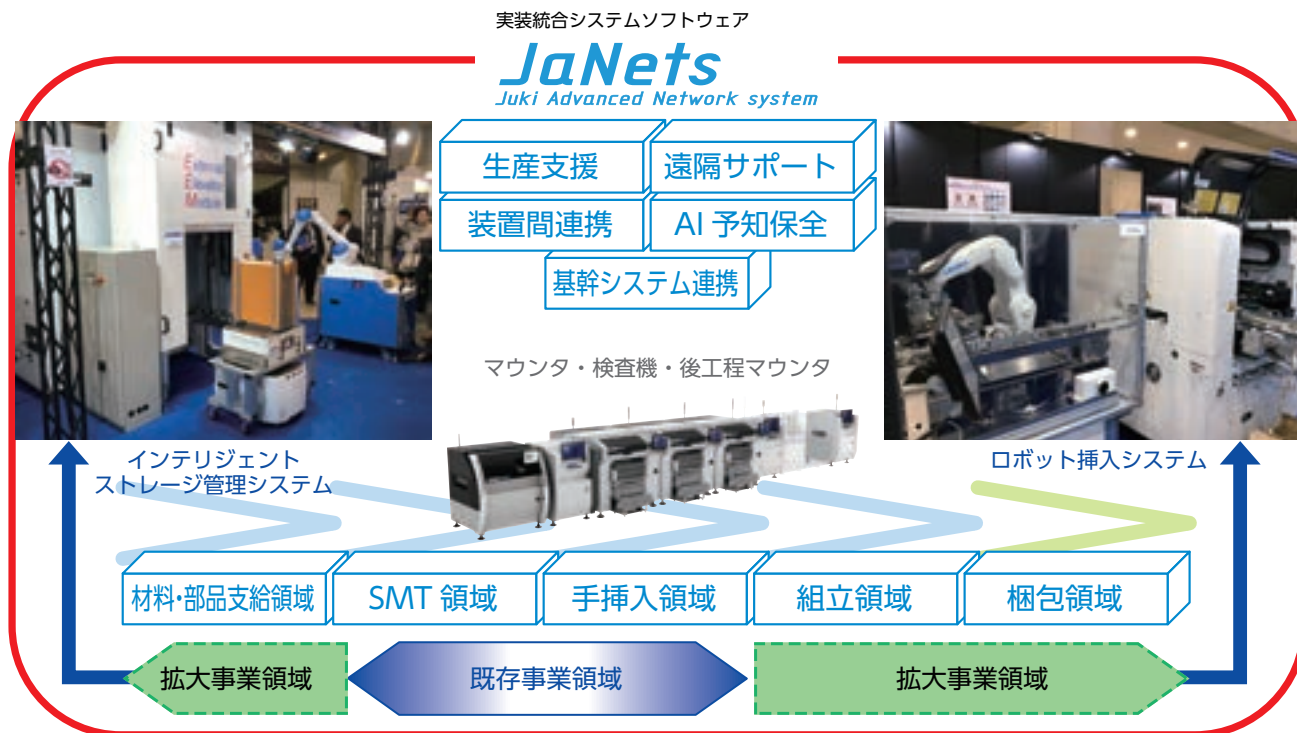
日本メーカーでは唯一の  
本格的キルトロングアームミシン



## 1. 産業装置の重点施策

ビジョン	得意分野への集中と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ～2020年に <b>汎用機台数でトップシェア</b> を達成
基本方針	多機能マウンタ及び非マウンタ領域の拡大にて <b>事業基盤を確固たるもの</b> とする
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客層別販売戦略・商品戦略の推進</li> <li>新製品投入による販売拡大及び粗利率の改善</li> <li>ソリューション営業によるMI・ISM・提携商品の拡販</li> </ul>

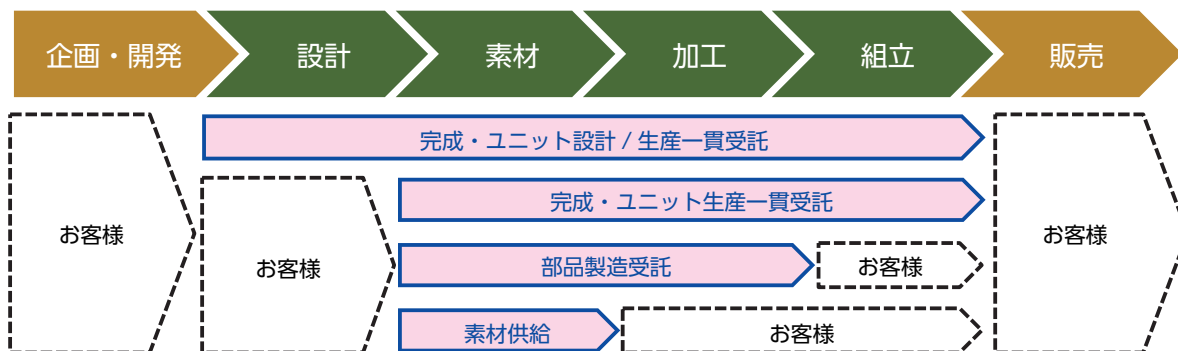
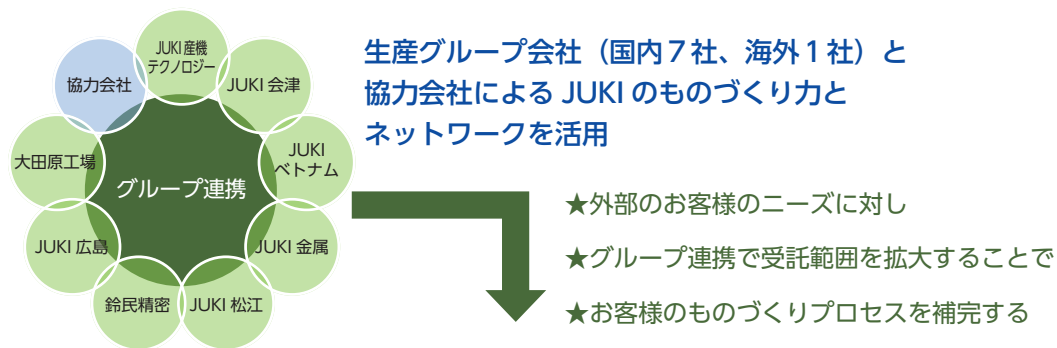
## 2. JUKIが提案するスマートファクトリー（JUKI Smart Solutions）



## 1. グループ事業の重点施策

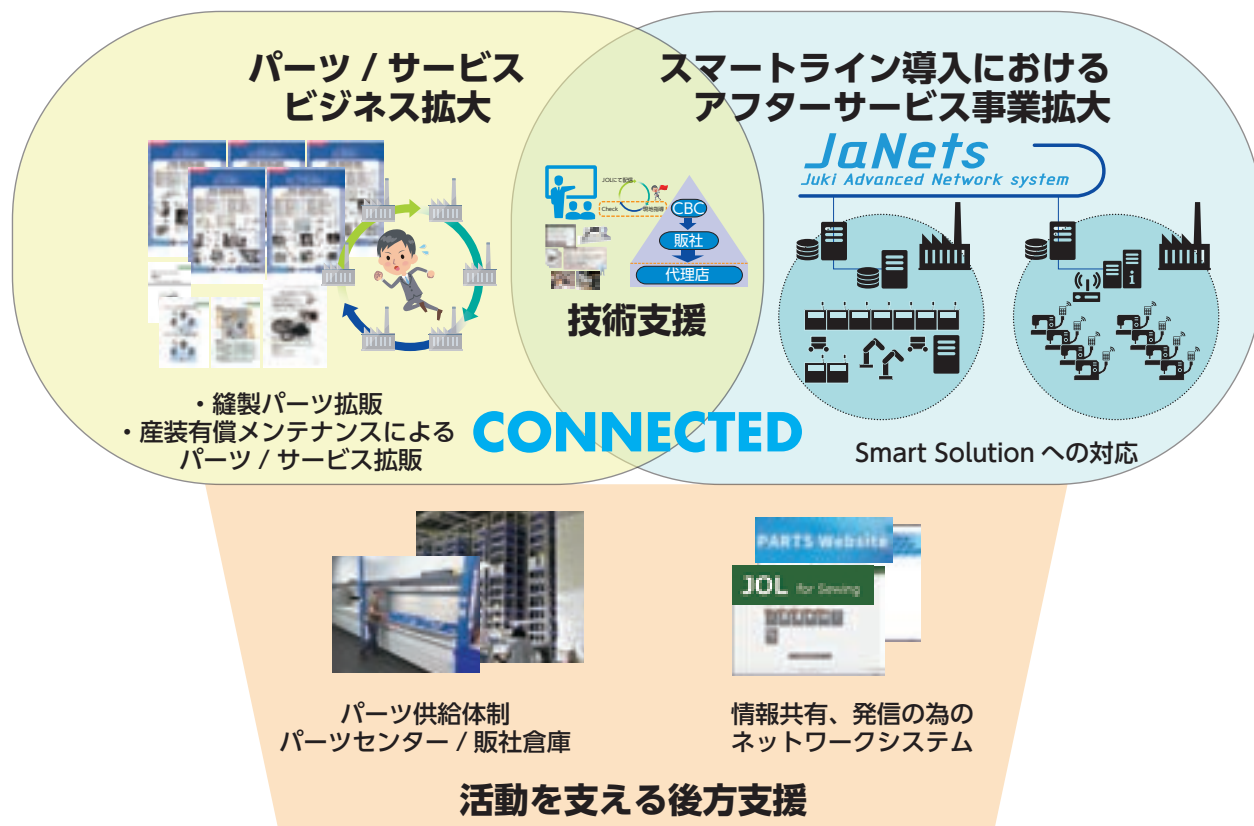
ビジョン	JUKIグループの経営資源（製造技術含む）を活かしJUKI第三の柱へ
基本方針	新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大で、第三の柱とすべく売上を拡大（目標150億円）
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要顧客の間口拡大による売上拡大</li> <li>・独自製造技術、独自製品の商品化による売上拡大</li> </ul>

## 2. JUKIが提案する一貫受託サービス（JUKI Contract Business Model）



## 1. カスタマービジネスの重点施策

ビジョン	今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品
基本方針	縫製、産業装置の垣根を越えたカスタマービジネスの拡大
重点施策	（縫製） パーツWebサイトを活用したネットセールスによる顧客の囲い込み （産装） 有償メンテナンスによるパーツの需要掘り起こし （共通） スマートライン導入におけるアフターサービス事業拡大、パーツ/サービスの相乗的な付加価値創生



## 連結財務諸表（要旨）

### 連結貸借対照表

(百万円)

科目	前期	当期	増減
	2016年12月31日現在	2017年12月31日現在	
<b>資産の部</b>			
流動資産	80,066	79,102	△ 964
固定資産	31,298	31,451	153
資産合計	111,365	110,554	△ 811
<b>負債の部</b>			
流動負債	61,254	55,589	△ 5,665
固定負債	22,528	21,621	△ 907
負債合計	83,782	77,211	△ 6,571
<b>純資産の部</b>			
株主資本	28,412	33,468	5,056
その他の包括利益累計額	△ 1,406	△ 742	664
非支配株主持分	576	617	41
純資産合計	27,582	33,343	5,761
負債純資産合計	111,365	110,554	△ 811

### 連結損益計算書

(百万円)

科目	前期	当期	増減
	2016年1月1日から 2016年12月31日まで	2017年1月1日から 2017年12月31日まで	
売上高	97,724	103,659	5,935
売上原価	68,134	71,748	3,614
売上総利益	29,590	31,911	2,321
販売費及び一般管理費	24,938	23,755	△ 1,183
営業利益	4,651	8,156	3,505
営業外収益	854	840	△ 14
営業外費用	2,483	1,157	△ 1,326
経常利益	3,022	7,839	4,817
特別利益	441	39	△ 402
特別損失	373	151	△ 222
税金等調整前当期純利益	3,090	7,727	4,637
法人税等	1,453	2,029	576
当期純利益	1,637	5,697	4,060
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 246	54	300
親会社株主に帰属する当期純利益	1,883	5,642	3,759

## 会社情報 (2017年12月31日現在)

### ■ 会社概要

商号	JUKI株式会社
創立	1938年12月15日
資本金	180億4,471万円
本社	東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
決算期	12月
営業品目	工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他
従業員数	5,899名（連結）
連結子会社数	27社

### ■ 株式の状況

- 発行可能株式総数……………80,000,000株
- 発行済株式総数……………29,874,179株
- 株主数……………8,950名

## JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1  
TEL: 042-357-2211

<http://www.juki.co.jp>

### ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,976	10.16
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1,493	5.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,180	4.02
株式会社みずほ銀行	938	3.20
日本生命保険相互会社	732	2.49

### ■ 所有者別株式分布状況

